

独立行政法人統計センター評価に関する有識者会議[議事要旨]

1 日 時:平成 29 年 8 月 1 日 (火) 15:00~16:00

2 場 所:総務省第 2 庁舎 6 階特別会議室

3 出席者:(有識者) 廣松毅 (座長)、岩下真理、小林稔、津谷典子 (敬称略)
(統計局) 千野統計局長、佐伯統計調査部長、岩佐総務課長、岡統括補佐
(統計センター): 佐藤経営審議室長、杉田管理部長、黒川統計編成部長、角田統計情報・技術部長

4 議 題:(1) 平成 28 年度に係る業務の実績に関する評価 (案) について
(2) 総合評定 (案) について
(3) その他

5 議事概要:

(1) 総務省統計局から平成 28 年度に係る業務の実績に関する主務大臣による評価 (案) の説明が行われた。

(2) 質疑が行われた後、総務省統計局から総合評定 (案) について、説明が行われ、項目別評定及び総合評定ともに妥当であるとの意見で一致した。

(3) 有識者からの主な意見等は以下のとおり。

○要員について、人員の削減を推し進めることに注力するだけでよいのか。作業を効率的に行うことは重要だと思うが、経験と適正を積んだ人員を確保し、質の高い作業を継続的に行うことを目指してほしい。

○オーダーメイド集計と匿名データについて、提供件数が少なく、これを基に評価するのは慎重であるべきではないか。手数料収入についても、この作業は利潤のために行うものではなく、これを評価基準とするのには疑問がある。

○評価基準について、国勢調査を例にすると、要員投入量の増減率が 2%増加の場合にマイナス評価となっているが、増加もやむを得ない明確な要因があるため、評価基準を更に見直す必要があるのではないか。

○要員投入量について、単純な数値で示すだけではない評価の仕方に改善する必要があるのではないか。

以 上